

神社参拝法

盛り塩方法

瞑想法

言 霊

各種祝詞

かたかむなうたひ

経文

本電子書籍、

【仏神宗仏神寺柳山神社 言霊】

は、著作権法によって守られています。

本電子書籍に対しての著作権侵害にあたる行為は、分かり次第取締当局へ通報させて頂きま
す。

著作権侵害は犯罪であり、被害者である権利者が告訴することにより侵害者を処罰してもら
うことができます（親告罪。一部を除く）。著作権、出版権、著作隣接権の侵害は、十年以
下の懲役又は壱千万円以下の罰金、著作者人格権、実演家人格権の侵害などは、五年以下の
懲役又は五百万円以下の罰金などが定められています。また、企業などの法人による侵害の
場合（著作者人格権侵害、実演家人格権侵害を除く）は、三億円以下の罰金と定められてい
ます。さらに、私的使用目的であっても、無断でアップロードされていることを知ってい
て、かつダウンロードする著作物等が有償で提供・提示されていることを知っていた場合、
そのサイトから自動公衆送信でデジタル録音・録画を行うと、二年以下の懲役若しくは二百
万円以下の罰金が科せられます

なお、「懲役刑」と「罰金刑」は併科されることがあります。

また本電子書籍の、著作物のコピー・印刷・転送等を行う事も著作権侵害に適用
されますので、ご了承ください。

目次

はじめに	七
第一章 神様、参拝の礼儀	九
参拝の作法	十
店舗・家などに、置く盛り塩の仕方	十二
神様・仏さまが喜んでいる合図	十五
第二章 絶対神・最高神、天之御中主大御神言霊と、その他の言	十六
八言の神呪【天之御中主大御神の真言】	十七
十三言の神呪【天之御中主大御神の真言】	十八
天之御中主大御神神呪	十八
大元造化三神報恩之祝詞	十九
十言の神呪【天照大御神の真言】	二十
天国の言霊の色々	二十一
神様の御名の言霊の色々	二十二
究極の言霊【天之御中主求聞持法】	二十五
開運祝詞	二十六
あいうえお祝詞	二十七
四十八音祝詞	二十八
あおうえい祝詞	二十八
天の数歌	三十
いろは祝詞	三十
ひふみ祝詞	三十一
あわの祝詞	三十二
天之御中主大御神様が主祭神の神社	三十三
第三章 祝詞の言霊	三十三
祓祝詞	三十四
祖霊拝詞	三十五
神拝詞	三十七
天津祓	三十八
天津祓い方位別唱え言葉	三十九
略拝詞	三十九
天津祝詞	四十一
守護神祝詞	四十二

3

祈病祝詞・	百二十七
病氣平癒祈願祝詞・	百二十八
祈家内安全祝詞・	百二十九
祈念祝詞・	百三十
祈造酒祝詞・	百三十一
雨乞祝詞・	百三十二
祖先の靈舎に向て申す詞	百三十四
祖先の靈舎に向て申す詞 略文	百三十四
祖廟靈鎮祓祝詞・	百三十四
神拝之次第・	百三十五
俗信拝次第・	百三十六
遥拝祝詞・	百三十七
神供祝詞・	百三十八
降来要文祝詞・	百三十八
送納要文祝詞・	百三十九
略神拝次第・	百三十九
御食御酒の祝詞・	百四十
神酒祝詞・	百四十一
天祖神の大道祝詞・	百四十二
天祖神 賛言・	百四十二
清大祓・	百四十二
一切成就大祓・	百四十三
三種大祓・	百四十三
四魂大祓・	百四十四
御霊清大祓・	百四十五
幽界魂清大祓・	百四十六
言霊賛祝詞・	百四十七
大道祝詞・	百四十九
感謝祝詞・	百五十
一体祝詞・	百五十二
魂新替祝詞・	百五十五
龍王大神祝詞・	百五十七
御祖宗祝詞・	百五十八
天災から身を守る言霊・	百五十八
第四章 かたかむなうたひ	百六十

[illegible]

はじめに

私が、言霊と出会ったのは、小学低学年の頃だったと思います。私の家は、親父が大工の棟梁で、兼業農家の家で生まれましたので、月の小遣いなど無縁な家庭で育ち、貧乏だった事を思い出しますが、貧乏だったのに、何も苦にすることなく、楽しかった事を思い出します。何故か、挨拶だけには、うるさい親父でしたが、今を思えば、そのうるささがあり、今の自分が形成されていったのだと、親父に感謝しています。おはようございます。こんにちは、ありがとうございます、さようなら、と色々な、挨拶がありますが、ごく自然に、感謝の気持ちを心から、伝えられるようになり、会う人に誰でも挨拶しますから、不思議がられる事もしばしばです。小遣いなどない、貧乏な生活の中、何故か、不思議と学生の頃は、小学4年生から新聞配達をして、お金に困ることなく生活していましたし、中学生の頃は、別途収入が、月に三〇四十万円の金が入って来ていましたので、その頃から、金運がいいと、いつも言うておりました。高校を中退してから4年間というもの、真面目に仕事をしていましたが、それ以降は、仕事という仕事は、していません。よって、三十何年間仕事はしていませんが、お金に困ることなく、一般の人よりも、良い生活は、して来たと思います。私の場合、三十歳を過ぎてから、あるところで、あるものが、私にのってきて、取り憑かれ、宗教の本を読み漁り、独学で宗教を学びましたが、考え方が、人とチョット違ったせいか、「葬式坊主には成りたくない。」という理由で、師匠に話し三十六歳の時に、曹洞宗悟入寺の住職から灌頂を受け、得度しました。私の考えは、死んでどうなる、生きている内に、幸せにならなければ、人はいけないのだと、考えており、お祓い等、人に施してまいりましたが、かたかむなうたひに、令和一年六月に出会い、最初は、聞くだけでしたが、かたかむなには、何かがあると感じて、すぐに、教本として「カタカムナ 言霊の超法則」「魔法みたいな奇跡の言葉 カタカム

ナ」を購入し、読ませて頂きました。その外、色々なYOUTUBEをみて、この言霊には、何か不思議な力があるぞと、確信し、後に、記載してある かたかむな治療法・除霊の仕方を研鑽して使用しています。昔は、霊を観想し、霊を吹き飛ばす、除霊法を編み出し、施術してまいりましたが、この方法より、簡単にみんなが出来るだろうと考え、かたかむなうたひの言霊を使った除霊法を公表したいと思い、今回書籍を出さしてもらいました。かたかむな健康法・治療法・除霊の仕方では、病気も治せます。是非、合わせて使用して下さい、幸いと考えます。（ちなみに、私も色々な病気の人に試してみて効果が100%です。）ちなみに、この本に載せてある、言霊は、すべてにおいて、私が研鑽しているものばかりですので、安心して、ご使用ください。かたかむなにおいては、全てにおいて、ひらがな表記にしてあります。（カタカナは読み辛いです。）かたかむな発見者、檜崎皐月氏が、その当時はカタカナが主流だったのでカタカナに表記したのだと、感じています。カタカナに、ムを入れるということで、カタカムナになることを、檜崎皐月氏が分かりカタカナ表記にしたのでしょうか。そうすると、檜崎皐月氏は、とても、ユーモアのある人といえるのですが。かたかむなにおいては、濁音は記載してありません。私は、濁音を使用していないと考えているからです。祝詞においても、すべて、ひらがなになおしてありますが、濁音はそのままです。私が、祝詞を奏上するにあたり、漢字では、とても読みづらいと感じていましたし、意味が、理解できるように区切って表記してありますので、読みやすいと思います。（龍神祝詞・一体祝詞・先天三種大祓祝詞・神言等、神道大祓全集にはない祝詞も記載してあります。）大昔は、漢字も何もなかったのです。言葉の音波だけが存在し、その言葉を理解して、生活をしていたのです。言霊の威力を感じて頂ける事を、切に願ってやみません。

第一章

神様、参拝の礼儀

参拝の作法

地球の、何処にいても、どんな場所でも、神様はいらっしゃいます。

どこでも一礼をし、三步前に進み次の作法により拝礼します。

通常は、北西に向かって、昼間は太陽に向かってでも構いません。

※神社に行った時は、鳥居の前で、一礼をし左側を歩くときは左足から、右側を歩くときは右足から、鳥居をくぐるようにして、参道の真ん中は歩かず、端を歩いて、手水舎に向かいます。手水舎に着いたら、まずは柄杓に水を汲み、左手から洗います。次に、右手を洗い、左手に水を注ぎ、口を漱ぎます。使用した、左手を洗い、柄杓の柄を洗って終わりです。



拝殿に向い

1、二拝（二度）深く（90度のお辞儀）お辞儀をします。

2、両手を合し、右手を約3センチ程下げ（下げることで陰陽をつくります。）、二柏手を打ちます。
ずらした手を元に戻し、必ず、自分の紹介をします（住所地、生年月日生まれの、氏名〇〇と申します。）



※神様に感謝の意を唱える。

いつも、御守り頂きありがとうございます。（けして、願い事は言わない事。）

もし、願い事を言いたいのであれば、叶っていないなくても、

「〇〇を叶えて頂き有難うございます。感謝致します。」と唱えることが、必須です。

3、一拝（一度）深く（90度のお辞儀）お辞儀をして、三步下がり一礼をして、終わります。

その後、本書の言霊・かたかむなうたひ（第五・六・七首）・・・祝詞・真言を奏上（唱える）するか、略拝詞・天津祝詞・神拝詞・祖霊拝詞・その他の言霊を奏上してもかまいません。

※なお、神社によつては、拝礼の仕方が異なりますので、行かれた、神社の方にお聞き下さい。

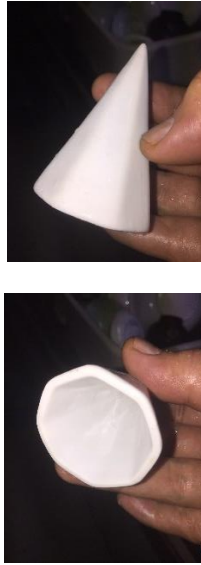
店舗・家などに、置く盛り塩の仕方

神棚がある場合

毎月朔日、十五日（ちなみに私は、朔日、十六日に）、お神酒・盛り塩・お米・お水を取り換え、毎日、お米・お水を取り替え、ろうそくに点火し、祈りを捧げます。

神棚がない場合の、家・店舗等での盛り塩の仕方
毎月朔日、十五日以降の記載の方法で神様を祀ります。

※ダイソウなどに行つて、盛り塩容器を買つて来ておいたら、楽に盛り塩が出来ます。



- 1、 先ずは、お米を洗います。きれいに、水が透き通るまで洗つて下さい。
- 2、 塩を、準備して綺麗な形に整えて下さい。（ここで、塩と洗米と御酒（焼酎）を混ぜてもかまいません。）



3、円錐形の容器がない場合は、紙を切り円錐形の形を造り、塩を円錐形に綺麗に形取りましよう。後片付けが必要ですので、小皿を準備します。

4、3、で準備し作った盛り塩を、小皿に、作った盛り塩をたてます。

5、盛りの作業は時、洗米と塩とお神酒を混ぜて作って円錐形を整えても構いません。そのように造る事によって、後の作法が簡単になります。

お神酒を巻いたり、洗米を捧げたり、盛り塩をする作業を簡略化出来るからです。

6、以上の、要領で盛り塩のお皿を二つ作ります。

7、御酒（焼酎）を、準備して下さい。

8、御酒（焼酎）を盛り塩をする店舗の入り口両側の場所に撒きます。

9、撒いた場所に、6で造った盛り塩を置きます。

盛り塩をした後、略拝詞・神拝詞・祓祝詞・天津祝詞のいずれかを奏上（唱える）します。

かたかむなうたひの、第五・六・七首を奏上（唱える）してもかまいません。

※家を奉る場合には、家の玄関二つ、家の四隅に四つ、の計六か所、盛り塩をしなければなりません。

盛り塩をした後、必ず略拝詞・神拝詞・祓祝詞・天津祝詞のいずれかを奏上（唱える）します。

本書の、かたかむなうたひの、第五・六・七首を奏上（唱える）してもかまいません。

神様・仏さまが喜んでいる合図

神事が始まる 神事の音が聞こえる 神社で結婚式に遭遇する 天候が変わる

雪や雨が晴れる 雪や雨が降る 虹が現れる 風が吹く 太陽の光が差し込んでくる

祈願していると手足が暖かくなる 心が温かくなる 涙が出る

人払いがおきる（混雑していた境内から人が少なくなる）

動物・昆虫（特に蝶）に出会う 小石が飛んでくる（天狗を奉る神社のみ）

霊風（神社に垂らしてある白い御幌（みとばり））が揺れている

しめ縄の白のシテがクルクル動く 神柱（天から光柱が差し込む）

神社で虹が出る（参拝後、虹を見る）

神棚では、ローソクの炎が風もないのに変な動きをします。

第二章

絶対神・最高神

天之御中主大御神言靈

と、その他の言靈

八言の神呪（やことのかじり）【天之御中主大御神の真言】

八は、数字の8と同じです。8を横に寝かせると無限大になります。無限の知恵を授けて下さる言霊です。

天之御中主大御神は、宇宙絶対の創造主であり、天地を造られた神様です。

本当の御名前は、ミナカヌシ様ですが、アメノ、アマノは、総称と考えられます。

アメノミナカヌシオオミカミ、アマノミナカヌシオオミカミと呼ばれていますが、どちらも正解の呼称です。

天之御中主大御神は、困った時は必ず、知恵を授けてくれる、不思議な神様です。

しかし、我々の前に現れる時は、光の魂になって現れて下さいます。

光の魂になって表れて下さいますので、アメノミナカヌシと言われているようです。過去に、色々な方々がこの光の

魂によって救われています。

この八言神呪を毎日唱うれば、必ず貴方に大きな知恵を授けて下さいます。

ゆつくりと一字一字を噛み締めながら唱えて下さい。

二拝二拍手

あめのおき、つちのおき、あめのひれ、つちのひれ

あー まー のー みー なー かー ぬー しー

（七返・二十一返・百八返・千八十返）

二拍手一拝

十三言の神呪（とみことのかじり）「天之御中主大御神の真言」

十三言の神呪（とみことのかじり）ときいて何を想像しますか？

とみ、富、そうですね富繁栄をもたらしてくれる言霊です。全てに置いて全能な神様です。

ゆつくりと一字一字を噛み締めながら唱えて下さい。

二拝二拍手

あめのおき、つちのおき、あめのひれ、つちのひれ

あーまーのーみーなーかーぬーしーおーおーみーかーみー

（七返・二十一返・百八返・千八十返）

二拍手一拝

後記は、八言の神呪や十三言の神呪を唱えたくない人の為の言霊です。

毎日唱える事によつて、絶対にアメノミナカヌシ様からの知恵をひらめきによつて教えて下さいます。

また、光の魂になつて表れて下さるかもしれません。（ちなみに私は、光に包まれます。）

天之御中主大御神神呪（あまのみなかぬしおみかみかじり）

あまのみなかぬしおおみかみさま　いつも　きせきのちからで
わたしにめぐみをいただきまして　まことに　ありがとうございます。

※「あまのみなかぬしおおみかみ」と単語を唱えても効果があります。

大元造化三神報恩之祝詞

(だいげんぞうかさんじんほうおんののりと)

※この祝詞は神前でも唱え、無形の空を仰ぎ奏上する祝詞です。

かけまくも いとも かしこき あめつちの もとつかみ

あまのみなかぬしのおおみかみ たかみむすびのおおみかみ

かむみむすびのおおみかみたちの くすしく たえなる

みたまの ふゆによりて この うつしよに あれいでたる みにし あれば

そのもとつ みめぐみに むくい たてまつらむとして

ただへごとを へまつらくは いやたかく そこひなき

たかまのはらの かくりよを しめ たまひ

はじめもなく おわりもなく ときはに かきはに しづまり まし まして

めにみえぬ もとつけは ももたらず やその かみけを なし たまひ

めにみゆるものは ひのみくに つきのみくに ほしのみくに

またこれの おおつちに ありては

うつしき あおびとくさを はじめ いきあるも いきなきも よにありとし

あるものの かぎりを うむしいで うしはき まもり さきはえ たまえる

みいさおの おおき ひさしき ひろき あつき おおむ いくしみを

かがふりて このうつしよに あらむ かぎりは

おおみかみたちの もとつ みこころの まに まにに

この ころを つくして うむことなく

この みを つとめて おこたる ことなく

うやまひ かしこみも つかえまつる さまを たひらけく やすらけく

きこしめして よよのくにの あおびとぐさをして

あめつちの かみわぎに たがは しめず ひらけ よにおくれ しめず

くさぐさの わざわいなく つつがなく あらしめ たまえ

よのまもり ひのまもりに まもり めぐみ さきはえ たまえと

みそら はるかに おろがみ まつらくと もおす。

十言の神咒（とことのかじり）【天照大御神の真言】

神道の方たちが一番に、進めている言霊である。天照大御神の働きは、太陽の働きそのものである。

本言霊は、太陽の波動を受ける言霊である。

太陽力・萬物創造力・生命力・健康力・運氣力・ひらめき力・力を感じられる言霊である。

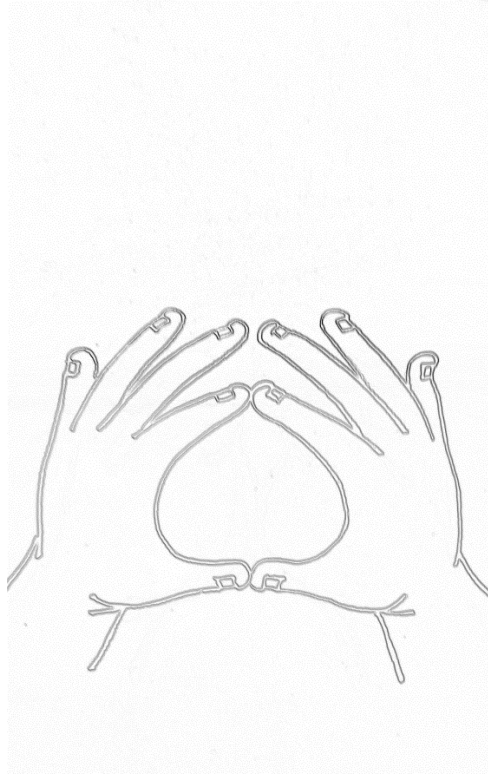
二拝二拍手

あめのおき、つちのおき、あめのひれ、つちのひれ

あーまーてーらーすーおーおーみーかーみー

(七返・二十一返・百八返・千八十返)

二拍手一拝



天国の言霊の色々 (てんごくのことたまのいろいろ)

「わたしはきんうんがいい」 「わたしはついてる」

「よかったね」 「できる」 「うつくしい」

「おいしい」 「ゆめはかなう」 「たのしい」 「きれい」

「しあわせ」 「ありがとう」 「ゆるします」 「かんしやします」

「むげんのかのうせい」 「じゆう」 「ゆたか」 「すばらしい」

「てんめい」

「そうだよね、わかるよ」 「おかねもち」 「やったー」
「さいこう」 「ラッキー」 「だいすき」 「ゆうき」
「かわいい」 「あい」 「ひかり」 「おかねもち」 「スター」
「あいしてます」 「まこと」 「みたあまのふゆ」
「とよさかのぼり」 「こううんのもちぬし」 「ゝにきめた」
「わたしは みえない ちからに たすけられている」
「ゝにならしてもらい、かんじやします」 「わたしはせいこうする」

※その外、挨拶の言葉、感謝の言葉、喜びを表す言葉、褒める言葉、夢や目標の具体的な言葉のポジティブな言葉等、他にも色々な言霊がありますので、探して研鑽してみましよう。

神様の御名の言霊の色々（かみさまのみなのことたまのいろいろ）

※言霊には、ここに記載してある以外にも沢山あります。古事記に出てくる神々の御名は全てが言霊です。

ここに記載されていない神様もいらつしやいますが、各神様の御利益に応じて唱えてみて下さい。順不同

たかみむすびおおみかみ

高御産巢日大御神

※全般

かむみむすびおおみかみ

神産巢日大御神

※全般

うましあしかびひこちおおかみ

宇摩志阿斯訶備比古遲大神

※全般

あめのとこたちのおおかみ

さるたひこおおかみ

うかむみたまおおかみ

たけみかづちおおかみ

ふつむしおおかみ

くにのとこたちのかみ

とよくものかみ

うひぢにのかみ

すひぢにのかみ

つのぐひのかみ

いくぐひのかみ

おほとのぢのかみ

おほとのべのかみ

おもだるのかみ

あやかしこねかみ

いざなぎのかみ

いざなみのかみ

天之常立大神

猿田彦大神

倉稻之御魂大神

武甕槌大神

経津主大神

国之常立神

豊雲野神

宇比地邇神

須比智邇神

角杵神

活杵神

意富斗能地神

大斗乃弁神

於母陀流神

阿夜訶志古泥神

伊邪那岐神

伊邪那美神

※必勝・交通・産業開発

※全般

※商売関係・豊作・出世

※芸能・戦いの神・勝利

※大漁・海上安全・開発

※全般

※無病息災・五穀豊穰

※生産増大・開運・豊作

※生産増大・開運・豊作

※全般

※全般

※国土開発・その他

※国土開発・その他

※足病・病氣平癒・他

※国土開発・その他

※夫婦円満・縁結び

※夫婦円満・縁結び

くにのとこたちのかみ

とよくもののかみ

うひぢにのかみ

いもすひぢにのかみ

あめのふきおのかみ

おおやまづみのかみ

あめのさづちのかみ

あめのみくまりのかみ

たけみかづちのおのかみ

おおげつひめかみ

あめのくひぎもちのかみ

つきよみのみこと

すさのおのみこと

おおくにぬしのかみ

あめのうずめのみこと

このはなさくやひめのかみ

はやあきつひこのかみ

國之常立神

豊雲野神

宇比地邇之神

妹須比智邇神

天之吹男神

大山津見神

天之狹土神

天之水分神

建御雷之男神

大宜都比売神

天之久比箸母智神

月読尊

須佐之男命

大国主神

天鈿女命（天宇受売神）

木花咲耶姫神

速秋津日子神

※全般

※五穀豊穰・無病息災

※国土開発・その他

※国土開発・その他

※全般

※全般

※国土・全般

※山水分配・子宝・安産

※武道・製鉄・農耕・土器

※五穀豊穰・大漁・蚕守護

※水の神・農業の神

※航海家内安全・豊漁・豊作

※勝利・学力・厄除・武芸

※商売・諸運・良縁

※芸能・その他

※安産・その他

※厄除開運・航海安全